

チケット
発売中

あいち国際女性映画祭2019で上映します！

吉峯美和監督、田中美津さん来場予定！



女性解放は大事だけれど、私の解放はもつと大事。
私のリブは第一に、
自分の自由や幸せのために、邪な世界と戦う。
幼い頃から「この星は、私の星じゃない」
と咳きつつ、不器用に、全身で、
この星に立ち続けてきた私、田中美津76歳。
こだわりも諦めも、力にして生きてきた。

ドキュメンタリー映画

この星は、私の星じゃない



田中美津

米津知子 小泉らもん 古堅 苗
上野千鶴子 伊藤比呂美
ぐるーぶ「この子、は沖縄だ」の皆さん

監督・編集・撮影・朗読／吉峯美和

撮影／南幸男 小口久代

録音／宮武亜伊 河合正樹

整音・音響効果／朝倉三希子

製作／パンドラ + BEARSVILLE

スタジオ編集・MA / NEO P&T

テーマ曲／「新パワフル ウィメンズ ブルース」
(作詞／田中美津 曲・演奏／RIQUO)

田中美津がいて、よかった

～監督 吉峯美和～

ヒトには見える部分と、見えない部分があって、とかく見えない部分が、そのヒトそのものだったりする。

日本におけるウーマンリブ運動のカリスマ的存在……と言われ続けてきた美津さんの、見えない部分を追って、足掛け四年カメラを回した。

彼女の明るさ、おおらかさの奥にある強さ、切なさ、孤独。そして、彼女の中の〈膝を抱えて泣いてる少女〉が、私の中にもいることに気づかされて……。

この映画、「フェミニズムとはこういうもの」と思い敬遠してるヒトにこそ、見てもらいたい。

吉峯美和プロフィール

1967年生まれ。フリーランスの映像ディレクターとして、民放やNHKのドキュメンタリー番組を手がける。2015年に、Eテレ特集『日本人は何をめざしてきたのか 女たちは平等をめざす』で美津さんにインタビュー。その言葉の力と人柄に惚れ込み、自主製作で本作の撮影を始めた。

www.pan-dora.co.jp/konohoshi/

協賛金／A-portクラウドファンディング

助成／文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会



配給／パンドラ

©2019パンドラ+BEARSVILLE





撮影 松本路子



田中美津は、死ぬまで田中美津である。

1970年代初頭、「女らしく生きるより、私を生きたい」という田中美津の思いに多くの女たちが共感、ウーマンリブ運動が日本各地に沸き起こった。「モテない女のひがみ」と嘲笑してくる男マスコミに、「女の生き難さの中にリブが息づいてるだけだ!」と、1歩も引かなかった女たち。

さてウーマンリブは、田中にとって1対多数の世界だった。カリスマとは、そういうもの。今は、鍼灸師として患者と1対1で向き合う。「私の中にその人の居場所があるし、その人の中にも私の居場所がある」。

「心・技・体」は間違い、「体・心・技」で幸せになろう、絶対になれるよと、患者に語りかける美津さん。田中美津は、死ぬまで田中美津である。

映画のあらすじ

自分にとって切実な事柄にこだわっていく中で、世界とつながっていきたくて願った。

それゆえ「女であること」の痛みは、ウーマンリブの田中を生んだ。

「虚弱であること」のせつなさが、一心の治療を36年間続けている鍼灸師・田中を誕生させ、自らツアーを率いて辺野古に足しげく通うのも、沖縄の苦しみに対し長年見て見ぬふりだった自分への、恥ずかしさを伴う決意ゆえだ。

そんな田中に密着した1000日余りの日々を通じて、その心の遍歴を追った。



ことばを信じない彼女のことば・・・は、なぜか古くならない

● 映画とコラボ、「この星は、私の星じゃない」(岩波書店) 好評発売中

鍼灸師の仕事続ける傍ら、東日本大震災、永田洋子の死、相次ぐ子どもの虐待などをめぐって折々に紡いできたことばが、この1冊に。上野千鶴子による絶妙なインタビュー、伊藤比呂美との真剣でおかしいやりとりは一読の価値あり。

● 「いのちの女たちへーとり乱しウーマンリブ論」(パンドラ刊) 韓国版 近日かの地で発売

女性解放関係の〈世界の50冊〉を選んだ本には、日本から5冊選ばれていて、田中のこの本も、与謝野晶子や平塚らいてうの本と並んで選ばれている。この本、日本では47年間売られ続けているが、この度韓国でも発売されることになった。「ウン、日韓友好に一役買えると、いいなあ(笑)」と田中。



協力(順不同) 大西裕之・嵯峨克美・黒木潤子・中村真紀・西森信三・黒木春子・長谷川三千子・吉峯幸子・大竹京子・金沢うらら・篠原淑子・杉江亮彦・田中恵・千田晴・北川好美・末永畜生・高橋美穂子・丹羽麻子・浜田博子・樋口恵子・阿部紀子・池田恵理子・泉田守司・江崎森子・金井淑子・人見ジュン子・藤田史郎・水口香織・吉清一江・田中優子・古川ひろすけ・三木草子・弘理子・オオタスセリ・上岡陽江・栗原康・鈴木邦男・千田有紀・田原総一郎・中山千夏・原一男・神田つばき・小森慶子・志万田さをり・想田和弘・角田由紀子・認定 NPO 法人ウイメンズアクションネットワーク・シニア女性映画祭・日本女性学研究会有志・OKAIREN・ギャラリーヒルゲート・国際女性年大阪連絡会・男女共同参画社会を作る豊中連絡会・ドケカポ一座のビデオを見た会・岩波書店・ハート&カラー・沖縄平和運動センター・南城市観光協会・軍隊を捨てた国コスタリカに学び平和をつくる会

9月5日(木) 10:00～ ウィルあいち4階ウィルホール にて上映

〈問合せ先〉 あいち国際女性映画祭事務局

TEL:052-962-2520

9:00～17:00(映画祭開催中は21:00まで)

休日:月曜・祝日 ※月曜が祝日の場合は翌日も休日

公益財団法人あいち男女共同参画財団 企画協働課内

〒461-0016 愛知県名古屋市中区上堅杉町1番地

※詳しくは映画祭パンフレット又は映画祭公式ホームページをご覧ください

映画祭公式ホームページ

<https://www.aiwff.com>

